

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 冠動脈壁におけるマクロファージ集積の 3D 空間分布の特徴</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 向後 隆章</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2018 年 3 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義> これまでの研究で、急性冠症候群は不安定プラークの破裂が原因であることがわかっています。そしてマクロファージがプラークの不安定化に関与することが示唆されています。しかし、マクロファージの集積とずり応力の関係はまだわかっておりません。本研究では当院で急性冠症候群の診断で心臓カテーテル治療を受けられた方の冠動脈内イメージング機器を用いて得られた画像を解析し、マクロファージ集積の立体的特徴を検討します。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 患者様の病歴、血液検査、心臓カテーテル検査、冠動脈内超音波、光干渉断層像などのデータを利用します。</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦 2012 年 4 月から西暦 2016 年 3 月の期間に急性冠症候群の診断で心臓カテーテル治療を受けられた方。</p>
<p><研究の方法> 西暦 2012 年 4 月から西暦 2016 年 3 月の期間に急性冠症候群の診断で心臓カテーテル治療を受けられた方の冠動脈内超音波および冠動脈内光干渉断層像の画像を解析します。 なお、本研究では、必要な情報のみを統計資料として集計します。患者様のお名前や個人情報が明らかになることはございませんので、ご安心下さい。 本研究の対象となられる患者様で本研究にご賛同いただけない方は、下記の<お問合せ窓口>までご連絡下さい。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 循環器内科 氏名:向後 隆章 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8701</p>